



都立航空高専閉校

都立産業技術高専・

ものづくり工学科教授 吉田喜一

今年度末で都立航空工業高等学校5年生が卒業して、航空高専は閉校になります。1962年(昭和37年)4月に高専として発足して48年です。私は航空高専・機械工学科2期生です。卒業して1年間通産省(現経済産業省)に勤めましたが、その翌年助手として高専に戻ってきました。その後、講師、助教、教授と教員として41年間お世話になりました。学生として5年間いましたから、48年中46年間汐入にかよったことになりました。

私はこの閉校記念事業のプロジェクト責任者です。閉校記念誌発行、閉校記念式典、記念パーティーを予定しています。3月28日(日)午後、同窓会(大空会といひます)総会がありその後記念式典を本校で行います。その後日暮里のホテルラングウッドでパーティーを予定しています。卒業生が日本全国そして世界各地から集まって来ます。この日は汐入のというより「白髭西地区」市街地再開発事業の終了記念式典ということのものちに分かりました。日程調整して両方出席して頂けるようにしました。

先週の土曜日、2月13日から汐入の歴史を振り返る講座が始まりました。NPOまちづくりネット荒川主催で、リバーパーク汐入町会の協賛です。1回目の伊東毅東大

大学院教授のお話を伺うことができました。拝見したパワーポイントの写真是本当に懐かしいものばかりでした。参加者は住んでいる方々(現と元)がほとんどでしたが、私のように学生、教員として46年以上汐入にかよったというのも相当珍しい方だと思います。

奇しくも航空高専閉校と汐入再開発事業終了が同じというの何かの縁ですね。都立航空高専は5年前に品川の都立工業高専と統合されて都立産業技術高専となり、こちらは荒川キャンパスということになりました。また、2年前に東京都教育庁の所管から、「公立大学法人首都大学東京」という法人に移管されました。旧都立大学と同じ法人の一員になりました。したがって教職員は、都の公務員から普通の労働者になりました。その上、年俸制・任期制、教員評価性が導入され大変なことになっています。

しかし、航空高専の伝統は新しい産技高専・荒川キャンパスの中にDNAとして生き続けるでしょう。学生諸君は普段の勉強とともに、スポーツにロボコンに人工衛星に各種ものづくりに励んで、日本の技術発展に貢献してくれるでしょう。航空高専は名前がなくなっても不滅です。

なお高専の定年は63歳なのですが、法人化に伴って私自身は過渡的に64歳ということになります。まだ分かりませんが、最長であと2年お世話になることになりました。

杉山さんと歩こう

2月28日午後1時

集合場所 JR南千住駅前 参加無料
千住大橋と汐入大橋を歩きます。

杉山さん090(4203)6566

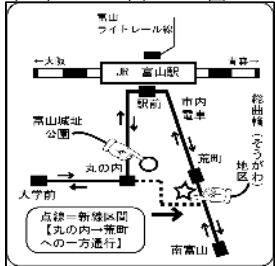
富山で見た、中心市街地再生への新たな取組み



今年の正月休みを利用して、私は富山市へ出かけてきました。昨年の暮れに、市内中心部で路面電車が新たに開通したと聞き、実際に見て来ようと思ったのです。

富山県の県庁所在地であり、人口約20万人を擁する富山市でも、地方都市で典型的な「車社会の進展による、住宅や商業施設の郊外流出」公共交通の衰退と中心市街地の空洞化」という課題を抱えてきました。そこで、富山市が中心となって、車に頼らずとも生活できる「コンパクトな街づくり」を目指し、公共交通を軸とした市街地活性化を図ることにしたのです。まず、平成28年に、富山港線というJRのローカル線(日中は1時間にたった1本しか列車が来なかった!)の経営を移管し、第三セクターの「富山ライトレール線」としました。車両を小型の軽快電車にし、住宅地に駅を増設し、運行本数を大幅に増やすなど、装いを新たに同線の乗客は大幅に増えたそうです。特に、車を運転できない高齢者が外出するのに重宝しているとのことでした。

今回開通したのは、既存の路面電車(南富山)富山駅前(大学前)の、丸の内、荒町停留所を結ぶ区間です。この区間は単線で、富山駅前→丸の内→荒町→



富山駅前、と反時計回りに環状運転を行う系統が新設されました。「セントラム」という愛称の新型電車が、1周3.5キロを20分で走ります。沿線には、富山城址公園や、富山随一の繁華街・総曲輪(そうがわ)があり、地元の人ばかりでなく、観光客の街歩きにも便利です。郊外店の影響で、総曲輪のアーケード街もかつての賑わいから比べると寂しくなつたと聞きましたが、それでも私が訪ねた時は百貨店(富山大和)の付近を中心にそれなりの人出で賑わっていました。開通記念の装飾もあちこちで見られました。セントラムも、初乗りでしょうか、家族連れで終日混雑していました。

日本各地を旅行していつも気になるのは、どこへ行っても同じような郊外大型ショッピングセンターが栄える一方、伝統的な街が寂れ、都市の表情がどんどん失われていることです。富山の取組みはまだ始まったばかりですが、高齢社会や中心市街地衰退の問題に対応する先進的な事例だと思えました。なお、「富山駅の高架化工事完了後、ライトレール線と環状線の線路をつなげ、直通運転する計画があるとのこと、まだまだ期待できそうです。

【消費生活アドバイザー】佐藤 祐一郎



◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13【コッ通り】

TEL 03(3806)4930

★休業日のご案内★

2月23日(火)、3月2日(火)、11日

(木)、22日(祝)は、休業日でございます。

★営業時間のご案内★

平日(月~金) : AM 9時30分~PM 7時

※3月16日(火)は、PM 5時で終了します。

土・日・祝日 : AM 10時30分~PM 6時